

「評価を」ぬき背景で「絵画」

作者は障害者 横浜のアトリエ販売

障害者が活動する横浜市神奈川区のアトリエ「あーとすたじお源」の作品の展示と販売が、東京・渋谷のコンセプトショップで始まった。障害のある3人の作品を展示するが、展示に障害についての記述はない。「作品そのものの価値を評価してほしい」との願いが込められている。23日まで。

佐々木つくみさん(33) テンドグラスのようだ。百は、ペンや色鉛筆で中世ヨーロッパのような街並みを描く。作品は、ペインティングナイフやエアスプレーを使ってつなぎ合わせて彩色した土色を重ねていく。会場には岐健太さん(20)の絵は、ス



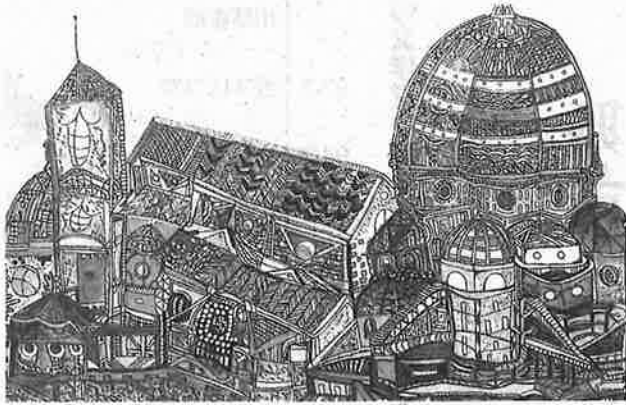
展示された作品はその場でTシャツやマグカップ、バッグにプリントできる=東京都渋谷区

渋谷で3人の70点

れている。

会場は若者が集まる「渋谷センター街」に入っすぐの場所。あーとすたじお源を運営する特別支援学校教員の福家健彦さん(53)は、「何にも染まっていな

い『ナチュラルアート』そのものが、彼ら(障害者)や背景をまったく知らない環境でどう受け入れられるかを見たかった」と話す。



佐々木つくみさんの作品=福家健彦さん提供

多くは6千円から1万円ほど。「障害の有無ではなく、作品そのものを評価してもらいたい」と福家さんは言う。

横浜市内で昨年開いた展覧会では、福家さんが悩みながら値段をつけた。今回は、東京都世田谷区で障害者の作品を扱う「段々色キヤラリー」を営む福江敬太郎さん(60)が値付けを担当した。

佐々木さんは売り上げをためて、作品にも多く登場するイタリア・フィレンツェに行くのが夢だ。「自分の絵を初めて買ってくれる人がいたとき、認められたとうれしかった」と話す。福家さんは、「若者の多い渋谷で、作品がどう評価されるのか。『こんなの見たことない』と興味を持ってもらえるのか、楽しみ」と話す。

午前11時~午後7時、東京都渋谷区宇田川町のPRINTONEで。展示作品のうち21点は、その場でTシャツやバッグ、マグカップに印刷して購入できる。問い合わせは福家さん(090・1459・9133)へ。(神宮司実玲)